

生産性を向上させるにはどうしたらよいか  
—一般社団法人栃木県生産性本部で考える—

開倫塾

塾長 林明夫

Q：一般社団法人栃木県生産性本部の会長に就任したそうですね。

A：(1)はい。2023年4月の理事会で推薦いただき、5月の総会で承認され、今まで副会長でしたが、この度、会長に就任させて頂きました。

(2)栃木県生産性本部は、来年設立50周年を迎える県の外郭団体の一般社団法人で、連合栃木はじめ県内の労働組合、栃木県商工会会議所連合会、栃木県経済同友会、栃木県経営者協会、栃木県中小企業団体中央会をはじめとする経済団体、足利銀行・栃木銀行をはじめとする金融機関、宇都宮大学をはじめとする高等教育機関、県内中堅企業、県民が集い、志同じくする栃木県経営品質協議会とともに、栃木県の実産性向上と経営品質向上を目指す経済団体です。

(3)今までは、連合栃木と共催の労使セミナーや、栃木県からの受託事業として「メンタルヘルスセミナー」はじめ、独自企画として、育成・営業・人事セミナーまど、実施してまいりました。また、栃木県経営品質協議会では、栃木県経営品質知事表彰式、経営品質向上セミナー、セルフアセッサー育成セミナーなど様々な活動を展開して参りました。

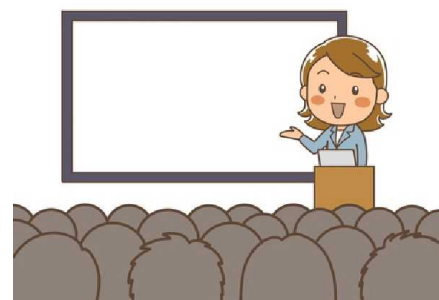


Q：今後、新会長に就任してどのような活動を展開する予定ですか。

A：(1)今までの活動をブラッシュアップ、磨き込み、参加者や団体の能力強化を図り、様々なセミナーや研修会を企業や団体の発展、とりわけ、生産性の向上に直結させたく存じます。

(2)そのためには、セミナーの開講にあたっては、経営幹部や中堅社員、新人社員としての「効果の上がる学習方法」と、「生産性を向上させるためにどうしたらよいか」の基本を私自身が講演させていただいております。

(3)ただ漫然と「セミナー」に参加するよりは、「生産性を向上させるにはどうしたらよいか」という会社代表としてセミナーに参加している「自覚」をもって参加し、「効果の上がる学習方法」を身に着け、それを実行に移した方が、セミナー参加の効果が倍増、いや1ケタ増、2ケタ増すると確信するからです。



Q：セミナー参加の常識とは何ですか。

A：(1)セミナー開始 30 分前には会場に到着し、講師の姿がよく見え、講師の声がよく聞こえ、パワポがよく見える一番前の席に着席。その日の資料を、一語一句ていねいに読み、「何がわからないかをはっきりさせ、目的意識をもってセミナーに臨む」こと。

(2)セミナーの間は、大切なことはすべてメモし、後で勉強するときに役立てること。

(3)①セミナー終了後は、その日のセミナーを思い出し「資料」や「ノート」を一語ずつ理解するように努めること。

②よく意味の分からない語句は、辞書で調べ、調べたことは、必ず、書き残すと同時にその場で覚えること。

③以上のように、セミナーの「復習」を終えたら、「資料」や「ノート」を声を出してスラスラよく読めるようになるまで「音読練習」。大切な「語句」やその「意味」「定義」「原理」「公式」などは、スミからスミまで何も見ないで言えるまでにすること(暗唱)。「書き取り練習」をして、何も見ないで書けるまでにすること(暗記)。

○そして、セミナーで学んだ内容を、十分理解し、自分のものとして「定着」させ、自由自在に使いこなせるまでにすることが大切です。



Q：生産性を向上させるためには、どうしたらよいのですか。

A：(1)①「生産性」は、「投入量(IN PUT)」を「分母」、「産出量(OUT PUT)」を「分子」とする「分数」で決定されます。

②例えば「学習塾」や「予備校」なら、1 人の先生が 1 クラス 5 名に教えるよりは、10 名、15 名、20 名に教えた方が生産性は「2 倍」「3 倍」「4 倍」高いといえます。

③これを「労働生産性」といいます。

(2)このように「生産性向上」を実現するには、産業・企業の実情や課題に応じて「分子」のより多くの「産出(OUT PUT)」を生み出す。

(3)そのためには、「分母」である「投入(IN PUT)」の「質の改善(または、効率化)」に取り組むことが必要です。



Q：より多くの「成果(OUT PUT)」を生み出すポイントは何ですか。

A：ポイントは 6 つあります。

(1)「生産量」「顧客数の拡大」、「売上」「付加価値の増大」が第 1 です。

(2)「新商品の開発」「新しいビジネスモデルの開発」、つまり「イノベーション」が第 2 です。

(3)「製品品質の向上」「サービス品質の向上」これが第 3 です。

①製品(product)やサービスが顧客の問題解決になっているかどうか

②買いやすい価格(price)か

③利便性の高い場所(place)か

④広告・宣伝(promotion)は、顧客とのコミュニケーションになっているか。

○マーケティングの 4P(Product、Price、Place、Promotion)、一つ一つの顧客にとっての意

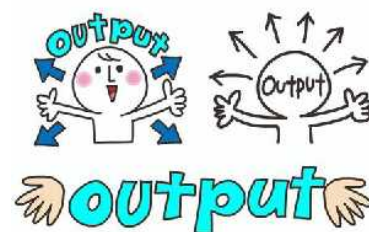
味が問われます

(4)「新市場」「新サービス」「新しい顧客」の開拓が第4です。

(5)「顧客満足度」「リピート率」が第5です。

(6)「ブランド価値」「企業イメージ」の向上が第6です。

○以上一つ一つのポイントが「生産性」の「分子」、「産出量・成果(OUTPUT)」を決定する要因です。



Q：「分母」である「投入(IN PUT)」の質の改善、または、効率化を図る取り組みのポイントは何ですか。

A：ポイントは4つあります。

(1)「従業員の能力開発」「従業員の満足の向上」が第1です。

(2)「機械化」・「自動化」・「仕組み化」・「AIの活用」が第2です。

○これからは、昨年11月から日本でも広まっている「チャット GPT を含む生成 AI」をどのように活用するか。その前提として「チャット GPT」からの情報をすべて「うのみ」にしないで、「自分の力で考える力」「批判的思考能力」その前提として「読解力」が欠かせません。

○「ことばは力」です。「辞書」の活用による「語彙力」増強は急務です。

○英字新聞を含め、「紙の新聞」をじっくり読むことが「自分で考える力」「批判的思考能力」を身に付ける最も効果的な方法です。

○古典を含む本格的なじっくり型の「読書」で、「時空を超えた対話」を行うことが、読解力だけでなく、「チャット GPT」時代に最も必要な「思慮深さ」「自省心」「省察力」を育てます。

(3)「業務プロセスの改善」が第3です。

(4)「デジタル技術(DX)」「ビッグデータ」の活用が第4です。

○これら生産性の「分母」である「投入(IN PUT)」の質の改善、効率化こそがより多くの「成果(OUTPUT)」に取り組む前提となります。

○「投入(IN PUT)」の改善・効率化の実現のために「働き方改革」、「人材育成」「人的資源投資」が重要で欠かせません。

○そのために「経営トップのリーダーシップ」と「健全な労使関係の構築」が不可欠です。

\*以上、元日本生産性本部理事長の松川昌義氏の栃木県生産性本部での講演会資料を参考にさせて頂きました。



Q：新会長として、これから行いたいことは何ですか。

A：(1)今までの「セミナー事業」の磨き込みと同時に、生産性の「分子」である「成果」と「分母」である「投入」の改善・効率化に向けて、企業・団体として、どのように取り組んだらよいか、その調査研究と対策の提言、モデル事業の開発などを、皆様と力を合わせて少しずつ行っていききたいと思います。

(2)全国の中で、働く人1人あたりのGDPは、No.1が東京都、第2が滋賀県。栃木県は全国第7位ですので、滋賀県を研究、ベストプラクティスとしてベンチマークもさせて頂きたく存じます。

(3)そして、1～2年かけて「分母」「分子」の各ポイントごとに論点整理を行い、生産性向上のための具体的活動に、一日も早く着手したく考えます。



○昨年1年間の出生数は77万人、本年は70万人近くまで減少しそうです。開倫塾はじめ全国の学習塾・予備校・私立学校の生産性向上は急務です。「学習塾・予備校・私立学校の生産性を向上させるためにどうしたらよいか」を、皆様とご一緒に考えて参りたく存じます。どうかお力をお貸しください。

**Q：最後に一言どうぞ。**

A：今月も僭越とは思いますが、この夏の終わりから秋にかけ、先生方がお読みになれば、参考になる本を御紹介させて頂きます。

(1)1冊目は、イギリスの作家トマス・ハーディ著「日陰者ジュード(上)(中)(下)」岩波文庫、岩波書店1970年10月16日刊です。

(2)2冊目は、同じくトマス・ハーディ著「テス(上)(下)」岩波文庫、岩波書店1960年10月5日刊です。

(3)3冊目は、ドイツの文豪、ゲーテ著「ヴィルヘルム・マイスターの修業時代(上)(中)(下)」岩波文庫、岩波書店2000年2月16日刊です。第二巻は、シェイクスピア著「ハムレット」が主な題材。書名の「ヴィルヘルム」は英語の「ウィリアム」にあたります。ゲーテがいかに「ウィリアム・シェイクスピア」に影響されたかよくわかります。

(4)4冊目はとして、ウィリアム・シェイクスピア著「ハムレット」岩波文庫、岩波書店1949年7月10日刊をお勧めせざるを得ません。シェイクスピアは読めば読むほど味わい深い作品ばかりです。シェイクスピア作「アテネのサイモン」も面白いこと限りなし。37作、少しずつでもお読みください。



(5)5冊目は、これまたイギリスの文豪ディケンズ著「クリスマス・キャロル」新潮文庫、新潮社1952年11月5日刊です。「二都物語(一～四巻)」や「デイヴィッド・コパフィールド(一～四巻)」とともにお読みください。イギリス文学の奥深さがしみじみ伝わってくる作品です。

(6)6冊目は、詩集は、「対訳 ブレイク詩集—イギリス詩人選(4)」岩波文庫、岩波書店2004年6月16日刊をゆっくり音読しながら通読することをお勧めします。暑い夏ですが、お元気にお過ごしください。

2023年7月12日記

○開倫塾主催第17回全国模擬授業大会が2024年5月26日(日)栃木県足利市で開催されます。今から準備し、是非、御出場ください。